

ナトリウム含有製剤の服用で心臓血管のイベント発生リスクが上昇

一般的に服用されている処方薬の中にはナトリウム含有製剤があり、処方の際には一日の食塩摂取量への配慮が必要な可能性がある。そこで、本研究ではナトリウム含有製剤を処方された患者とナトリウムを含有しない標準製剤を処方された患者において、心臓血管のイベント発症リスクを比較検討した。

対象者は1987年～2010年にナトリウム含有製剤または同じ薬剤だがナトリウムを含有しない標準製剤を2回以上処方された18歳以上の患者とした。プライマリーケア患者129万2,337人が対象となり、平均7.23年の追跡期間中、6万1,072人に心臓血管イベントが発生し、ナトリウム含有製剤による心臓血管イベント発生のおッズ比は1.16であった。また、非致死性脳卒中が1.22、死亡リスクが1.28、高血圧が7.18と高くなった。初回の処方から初発イベントまでの期間は3.92年（中央値）であった。

したがって、ナトリウム含有製剤（発砲錠や分散錠、溶解錠）の服用により、ナトリウムを含有しない標準製剤と比べて心臓血管イベントが発生するリスクが高くなることが示唆された。ナトリウム含有製剤は、リスクを上回る便益が得られる場合に限り慎重に処方すべきである。

出典：British Medical Journal.2013; 347: f6954